

2008 年度

科目名  <p style="text-align: center;">心理学特講Ⅱ</p>	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者  <p style="text-align: center;">熊野 道子</p>
授業テーマ 家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて「今、日本の家族は?」「家族の未来は?」を講義する。		
授業の概要と目標 保育や教育の領域で、その対象である子どもの理解だけではなく、子どもを取り巻く家庭、子どもの養育を担う親の心理や機能についての理解も必要である。最近、離婚の増加、晩婚化/非婚化、少子化、母親の育児不安・育児放棄・虐待などの現象がみられ、家族に変化が起こっている。この授業では、家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて、家族にどのような変化が生じているのか、それはなぜなのか、変化の背景にある社会的状況などを理解することを目標とする。		
評価方法 試験と平常点（出席状況、課題への取り組み状況など）により総合的に評価する。		
テキスト 家族心理学への招待	著者 柏木恵子・大野祥子・平山順子（著）	出版社 ミネルヴァ書房
参考書 必要に応じて授業の中で紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族とは何か①（現代日本の家族、家族の起源・進化・発達、家族の成立）</li> <li>2. 家族とは何か②（日本の「近代家族」の歴史、多様な家族）</li> <li>3. 恋愛・結婚・夫婦①（恋愛・パートナー選択、結婚の意味・価値）</li> <li>4. 恋愛・結婚・夫婦②（結婚＝夫婦は幸せか?、家族生活を営むということ）</li> <li>5. 恋愛・結婚・夫婦③（家計と夫・妻の心理、子育て期の多重役割）</li> <li>6. 恋愛・結婚・夫婦④（夫婦のコミュニケーション、定年後の夫婦）</li> <li>7. 子ども・親子の関係①（人類の親子、子どもの価値）</li> <li>8. 子ども・親子の関係②（人口革命、“つくる”時代の親と子）</li> <li>9. 子ども・親子の関係③（子育て不安、育児期家族にとっての夫・父親）</li> <li>10. 子ども・親子の関係④（家庭内暴力、母親の就労と親子の絆）</li> <li>11. 子ども・親子の関係⑤（父親と母親、親としての発達、いろいろな養育のかたち）</li> <li>12. 子ども・親子の関係⑥（中年期の親と青年期の子ども、老年期の親と中年期の子ども）</li> <li>13. 「家族」再考①（家族をとりまく物的環境、家族を支える制度・政策）</li> <li>14. 「家族」再考②（今、改めて「家族」とは何か?、家族の発達）</li> <li>15. 試験</li> </ol>		